

# 第3学年週刊情報誌

# 学年通信

45回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 45回生  
発行所 〒651-2104  
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5  
県立伊川谷高校 印刷室  
電話 代表 078-974-5630  
FAX 078-974-5631  
<https://www.2hyogo-ced.jp/weblog/ikavadani-hs/>

紙面から

5	4	3	2	1
1月・2月の行事予定	本職が選んだ優秀賞!	卒アル写真撮影ほぼ終了	22年最後の昼食終了!	期末も終われば特編

兵庫県立伊川谷高等学校  
道遙歌(3番)  
作詞 矢田部 大  
作曲 岡村 健治

秋古寺の石だたみ  
紅葉の錦散り敷けど  
あゝ我が友よ常磐木の  
不易の掲示君聞くと

学年キャッチフレーズ  
**笑顔・夢**  
校訓  
**自主 協同**

## 2022年最後の昼食タイム終!



教室の光景 & 食堂の光景

「ノー勉やあ〜」  
「マジすかい?」  
「登校時にそんな怖いやり取りをする人も居た今回の期末試験も、12月2日〜8日の5日間を終了しました。試験中は「類似希なる集中力を見せる者」もいれば、余程の自信があるのか「教師に採点を急がせる者」も居ます。ある教室では黒板に『最後の1秒まで粘る!』と書かれています。最終日最後の試験『英語表現II』、早々に解き終えたのか気持ちよさそうに寝ている人、申し訳ないに寝ている人、解答欄がすべて埋まっているのに何度も見直しをしている人...  
『こういうところで差がついていくんだろうなあ』と思う試験監督であった。まさか試験期間中にOールドカップとか観てないよね...くわばらくわばらただ45回生の良いところを一つ書くと、『試験期間中、皆ホントに休まない』という事です。この『当たり前』の事ができる君達は素晴らしい!

### 3学期の大まかな予定です!

さて、皆の間でポチポチ「3学期の登校日とかどうなるん?」という声が聞こえてきましたので、簡単に記載しておきます。

**1月**  
10日(火) 始業式  
11日~20日 通常授業  
23日~25日 学年末考査  
26日&27日 学年集会&LHR他  
※以後、何も無ければ自由登校

**2月**  
27日(月) 卒業式予行・各種表彰式  
28日(火) 卒業式

因みに皆の卒業年月日は『令和4年(2023年)3月1日』になります。いよいよ残り僅か、貴重な時間だネ!

### カウントダウン! 45th

最近、あちこちで『カウントダウン』を見かける様になりました。もちろん45回生の卒業までのカウントダウンです。  
『あれ?日数が昨日から何か少し...』  
数え間違いで、たまに変わる場合もあるみたいですが、そこは「愛敬」(笑)。クラスによっては、1人1枚の担当があるのかな?毎日違う人の描く『日数』が張り出されています。  
『推しは推せるときに推しとけ!!』  
なんとお茶目な言葉も見られます(笑)。進路が決まった人も、年明けに正念場が来る人も、残された高校生活という時間は皆同じ。大切にしていきましょう!

### 天性人語45th

円柱(缶ジュースの様な形)を思い浮かべてみよう。見上から見たら円に見えるが、真横から見たら長方形に見える。同じ物体でも見る角度を変えただけで、見える方が大きく異なってくる。これが人間だったらどうだろう。見方によって、円柱以上に大きく異なって見えるのではないだろうか。▼同じ人間が同じ事を行っても、見る人が変われば大きく異なって受け取られる。時には好意にもなり、時には悪意にもなる。これが『人間関係』なのだ。▼社会に出たら、学力もさることながら、この『人間関係』の構築が一番重要となる。言い換えれば学生とは、この『人間関係』を構築する力を学ぶ時間なのである。▼一つの出来事を一方からのみ見るのではなく、多方向から見て様々な受け取り方を考え、理解を示す。この様な力を社会は求めている。そして、この力を持つ者は、社会に出て必ずそこで、自分自身の居場所を見つけた事ができるのである。▼最後に、間違えないうでほしいのだが、自分の居場所とは、『自分自身が心地良かったり、最後に逃げ込む場所』などでは決してない。自分の居場所とは、『自分が他の誰かを支える事ができる場所』なのである。自分の居場所は人から与えられるものではない。自分で見つけるものなのだ。(福田)

### カウントダウン! 45th

『あれ?日数が昨日から何か少し...』  
数え間違いで、たまに変わる場合もあるみたいですが、そこは「愛敬」(笑)。クラスによっては、1人1枚の担当があるのかな?毎日違う人の描く『日数』が張り出されています。  
『推しは推せるときに推しとけ!!』  
なんとお茶目な言葉も見られます(笑)。進路が決まった人も、年明けに正念場が来る人も、残された高校生活という時間は皆同じ。大切にしていきましょう!



私たちは生徒の笑顔を何よりも大切にしていきます。  
Happy School Life

伊川谷高校



何かいつの間にかやら令和4年も12月です。1日(木)が期末試験前の最後の授業、すなわち『今年最後の昼食タイム』だった訳です。  
「あっ、ホンマや〜」  
「気付いてない人も案外多かったです(笑)。」  
「一生懸命コップにお湯を注ぐFさんが居ます。」  
「それは何?」  
「みそ汁?」  
「そっちは?」  
「ミルクティー」  
人の好みは昼食にも確実にたじろぎ湯を注ぎます  
「これがママの全力キャラ弁」

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。

「マの全力キャラ弁」  
力作を見せてもらいました(笑)。どの教室も『ありふれた日常』感が漂っていました。  
食堂でもこの日、いつもの席にいつもの人達が座り、いつもの様に食事を取っていました。3学期の昼食あり登校日は8日間です。その間も無事に、このいつもの光景が続いてくれることを願っています。



読者のページ

School Teacher @ Voice



私の気になるリーガルまごめ用紙  
本職が選んだ  
優秀賞は貴方だ!

6月から始まった『リーガルサポート講座』も10月初めに全講義が終了し、その後のまごめ用紙提出もほぼ完了しました。提出されたまごめ用紙は期末試験終了と同時にコピーが各教室前の廊下に一斉掲示されました。「うわっ、これスゲー!」そんな声が聞こえてきました。自分も時間かけて作った作品です。他の人の作品が気になるのも当然です。しっかりと見てもらいましょう。

今回作成したこれらの作品は、講義でお世話になった『一般社団法人おひとりさまリーガルサポート』本職の士業の皆様方に無理をお願いし、作品すべてに目を通してもらいました。そして、『最優秀賞(各1名)』『優秀賞(各数名)』

今更なるリーガルまごめ用紙を選んできました。皆様には『リーガルコンクール』として、士業の人が選んだ『見た目だけでなく中身もある』優秀作品当てる行つてもらいました。これも相互評価の一種です。今号では『優秀賞』の発表と総評を紙面掲載します。優秀賞受賞者の個人講評は、本人へ印刷紙を渡す



作品「目を奪う」生徒達

と共に廊下への全体掲示を行います。また、次号にて『最優秀賞』とその作品および個人講評を紙面掲載します。今回『優秀賞』に選ばれている人も、次号で『最優秀賞』に選ばれている可能性があります。後日、表彰式を企画しているのので、ちょっと期待しておいて下さいね。

「では、発表です!」

安藤紀子さん

【同法書士】

『優秀賞』  
3109 KR 3130 HK  
3133 MS 3134 MS  
3220 TN 3406 MS  
3505 IY 3508 IR

【総評】

見た目の綺麗さやまとも具合よりも、自分の思うところがしっかりと書かれた記事を選びました。授業の内容以外でも、司法書士の仕事に興味を持って下さった方がいた事がとても嬉しいです。

水上祐樹さん

【弁護士】

『優秀賞』  
3336 MN 3433 MH  
3513 KM  
【特別賞】  
3239 YS

【総評】

人が生まれてから死ぬまでの間、何をすれば幸せなのか、それは人それぞれによって違うと思っ

まとめの様子



まとめの様子

律はどんどん変わっていきます。これからのみなさんがお金とうまく付き合っていくように、心よりお祈り申し上げます。

福村雄一さん

【同法書士】

『優秀賞』  
3506 IT 3120 TA  
3139 MN

【総評】

SNSはとても身近な存在で、みなさんの生活と切っても切れない関係にあると思います。便利なツールとして活用できる反面、トラブルを起

嶋田浩一さん

【税理士】

『優秀賞』  
3422 NZ  
【インクイズ賞】  
3305 UR

【総評】

みなさんの新聞を拝見したところ、一部、間違っていた記事をされている方がいらつしやいました。が、私は今はそれでもいいと思っています。大事なのは、苦手を意識を抱かずに知ろうとする

考えを外部に発信していただく。その時にSNSを活用するのもアリでしょう。みなさんには大きな可能性が広がります。これから先もその可能性を広げていく。みなさんと一緒に時間を過ごすことができると嬉しかったです。ありがとうございます。

青葉洋明さん

【同法書士】

『優秀賞』  
3105 OM 3226 HK

【総評】

一言で「働く」と言っても、そのために考えることは本当に様々です。「どんな仕事をするか?」「どこで働くか?」「どんなメンバーと一緒に働くか?」など、おそろくみなさんも僕も、これからの人生の大部分を、働くということに費やすことになり

【総評】

増やしていくってのは、増やしていかれるはず。いつの日か、社会人として立派に働くみなさんと、どこかで再会できることを楽しみにしています。

高西信一郎さん

【同法書士】

『優秀賞』  
3225 NT 3516 SH  
3526 IH

【総評】

生徒皆さんの作品を読ませていただきました。生徒皆さんの色んな思いが作品に込められていて、うれしくなりました。今回、私は5名の講師のサポート役として参加しましたが、講師を務めた仲間にとつては、うれしさもひとしおであったと思

田中晴さん

【同法書士】

『優秀賞』  
3334 MI 3526 HK  
3531 FK ※個人講評のみ

リーガールーム? 18歳の法の部屋

裁判は自己責任? 言いたいことがあるなら自分で!

司法書士 青葉洋明 (一般社団法人 おひとりさまリーガルサポート)

前回、法律は正しく知っていることが大事という話をしました。これは、実は日本の裁判でも同じようなルールになっています。裁判では、「自分にとって有利なことは自分で主張し証明する」というルールがあります。例えば、AさんがBさんにお金を貸したのに返してくれないという場合、Bさんを相手に裁判を起すことができます。このとき、まずはAさん自身が「Bさんにお金を貸した」という証拠(借入金やメモ)を出さなければなりません。貸した事実がなければ、そもそも返してくれと言えないわけですから、Aさんは自分で有利な事情は自分で証明しなければなりません。これに対し、Bさんから「借りたのは事実だが、それはもう大昔(20年前)の話なので、時効だ!」という反論があるとしても、時効というものは、とても簡単に言いつつ、お金を借りても一定期間(たとえば10年間)が経つと返さなくても良い、という制度です。Bさんの主張は、当然Bさんにとって有利な事実ですから、Bさんは自分でこれを主張しなければなりません。20年前の話だということは裁判所も認識していますが、Bさん自身からその主張がされなければ、裁判所はあくまで中立なので、Bさんの味方になるようなことは言ってくれないのです。つまり、Bさんは、時効という制度をきちんと知っていて、それを自分で主張しなければならぬということになります。Bさんがそんな主張もできずから、裁判は負けてしまうかもしれません。借金を踏み倒すBさんが良い人かどうかは置いておいて(笑)、裁判はあくまで自己責任ということになります。厳しいようですが、法律を知らない素人だからと言って、裁判所は助けてはくれません。法律は「正しく知っている人の味方」です。



感謝 この気持ちを大切に45回生、これからを過ごしていきます!

います。さて、講師を務めたのは、生徒がどの講座を選んだかに付随することなく、個人的に気に入った作品を以下に紹介します。気に入った作品はたくさんあったので、選考基準として「読みやすいか」「分かりやすいか」「作者の意見や思いが伝わってくるか」などという観点から選ばせてもらいました。なお、複数以上の講座を一つの作品に盛り込んだ場合は、どうしても内容が薄くなり少し不利になったかもしれせん。

※『おひとりさまリーガルサポート』は通常7名で活動されていますが、本校での講座テーマが5つであったため、お二人の方がサポート役に回っておられました。45回生の皆のためにこんなにも教育支援していただきありがとうございました。『おひとりさまリーガルサポート』の皆様方に感謝、感謝です。本当にありがとうございました。